

総合計画の構成

現行計画の構成
表題: 第1次野洲市総合計画

見直し後の構成(案)
表題: 第1次野洲市総合計画 一改訂版一

資料1

第1部 基本構想(抜粋)

| |
|--|
| 第1章 計画策定にあたって 1 計画策定の趣旨と目的 2 計画の構成と期間 3 各個別計画との関係 |
| 第2章 野洲市を取り巻く社会的背景 1 少子化・高齢化、人口減少の時代 2 価値観・生活様式の多様化と変化の時代 3 地球環境を守り、自然と共生する時代 4 地方の自立と協働の時代 5 安全と安心が求められる時代 6 情報ネットワーク化の時代 7 産業を取り巻く環境変化の時代 |
| 第3章 野洲市の特性 1 沿革・地勢 2 人口・世帯 3 土地利用・産業 4 これまでのまちづくりへの取り組み 5 市民の意識 |
| 第4章 まちづくりの課題 1 子育て・教育・人権 2 福祉・生活・安全 3 環境 4 産業 5 都市基盤 6 市民活動・行政運営 |
| 第5章 将来都市像 ～めざすべきまちの姿～ 将来都市像～めざすべきまちの姿～ |
| 第6章 まちづくりの基本理念 まちづくりの基本理念 |
| 第7章 まちづくりの基本目標 1 豊かな人間性をはぐくむまち 2 人々が支え合う安心なまち 3 美しい風土を守り育てるまち 4 地域を支える活力を生むまち 5 うるおいとにぎわいのある快適なまち 6 市民と行政がともしつくるまち |
| 第8章 主要指標の見込みと計画 1 人口・世帯数 2 年齢構成 3 産業・生産の現状 |
| 第9章 土地利用基本構想 1 土地利用の基本理念 2 土地利用をめぐる基本的条件の変化 3 計画期間中における課題と土地利用の基本方針 4 都市軸の形成 5 拠点整備方針 |
| 第10章 計画の進捗管理の方法について 計画の進捗管理の方法について |

第2部 基本計画

| |
|--|
| 第1章 豊かな人間性をはぐくむまち 第2章 人々が支え合う安心なまち 第3章 美しい風土を守り育てるまち 第4章 地域を支える活力を生むまち 第5章 うるおいとにぎわいのある快適なまち 第6章 市民と行政がともしつくるまち |
|--|

総合計画

| | |
|--|---|
| 第1章 計画策定にあたって 1 計画策定の趣旨と目的 2 計画の構成と期間 3 各個別計画との関係 | 見直しの必要性や経過等を整理しています。 |
| 第2章 野洲市を取り巻く社会的背景 1 少子化・高齢化の時代 2 生活様式の多様化と変化の時代 3 地球環境を守り、自然と共生する時代 4 地方の自立と協働の時代 5 安全と安心が求められる時代 6 情報ネットワーク化の時代 7 産業を取り巻く環境変化の時代 | 現状に即して文言を整理しました。 |
| 第3章 野洲市の現状と課題 1 地域の特性 (1) 沿革と地勢 (2) 人口と世帯 (3) 土地利用と産業 (4) まちづくりへの取り組み (5) 市民の意識 2 現状と課題 (1) 子育て・教育・人権 (2) 福祉・安全 (3) 産業 (4) 環境 (5) 都市基盤 (6) 市民活動・行政運営 | 旧の第3章と第4章を一本にまとめましたが、それぞれを小項目としたので、結果として大まかな構成は変えていません。現状と課題については、読みやすくするため簡潔書きスタイルにして、文言を整理しました。 |
| 第4章 将来都市像 ～めざすべきまちの姿～ 1 将来都市像 ～めざすべきまちの姿～ 2 まちづくりの基本目標 | 基本理念はまちづくり基本条例に委ねます。地域将来像については、市民懇談会等を経て今後取りまとめていきます。 |
| 第5章 まちづくりの指標 1 人口フレーム (1) 人口・世帯数 2 土地利用の方向性 (1) 土地利用の基本方針 (2) ゾーン別整備方針 | 土地利用の方向性については、要調整。 |
| 第6章 まちづくりの基本施策 基本目標1 豊かな人間性をはぐくむまち 基本目標2 人ひとが支え合う安心なまち 基本目標3 美しい風土を守り育てるまち 基本目標4 地域を支える活力を生むまち 基本目標5 うるおいとにぎわいのある快適なまち 基本目標6 市民と行政がともしつくるまち | |
| 第7章 計画の進捗管理の方法について 1 進行管理の視点 2 指標の取り扱い | |

＜総合計画見直しに係る施策体系＞

